資料5

ネットワーク構築に関わるシンポジウムの実績

※敬称略

平成27年度～平成29年度	文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業 スポーツミュージアムの連携による啓発事業 **シンポジウム「これからのスポーツ博物館のあり方について」** 平成27年10月10日（土） 東京国際フォーラムG701会議室 基調講演「スポーツ文化の機能、オリンピック教育とスポーツ博物館との連携の可能性について」 真田　久（筑波大学体育専門学群） シンポジウム： 來田享子（中京大学スポーツ科学部） 小野沢　洋（公益財団法人日本サッカー協会日本サッカーミュージアム） 村田直樹（公益財団法人講道館） 小川義和（国立科学博物館事業推進部） モデレーター：真田　久（筑波大学体育専門学群） 特別講演「スポーツ博物館設置の重要性、博物館連携について」 三輪嘉六（九州国立博物館前館長） 参加者：87名
令和2年度	文化庁地域と共働した博物館創造活動支援事業 スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト **「スポーツミュージアムネットワーク シンポジウム」** 令和3年2月20日（土） オンライン メッセージ：室伏広治（スポーツ庁長官） 基調講演「スポーツミュージアムの可能性」栗原祐司（京都国立博物館） モデレーター：新名佐知子（秩父宮記念スポーツ博物館） パネルディスカッション：「スポーツミュージアムの人材育成に向けた連携と展望」 來田享子（中京大学） 伊東佳那子（中京大学スポーツミュージアム） 下湯直樹（日本オリンピックミュージアム） 山谷和正（札幌オリンピックミュージアム） 田口和男（長野オリンピックミュージアム） 参加者：約90名
令和3年度	文化庁地域と共働した博物館創造活動支援事業 スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト **「スポーツミュージアムネットワーク シンポジウム」** 令和4年2月12日（土） オンライン 基調講演「アーカイブが拓くスポーツの未来」町田　樹（國學院大學人間科学部） モデレーター：栗原祐司（京都国立博物館） 事例発表「スポーツミュージアムのネットワーク構築と資料の保存・活用」 「スポーツミュージアムの多様性：中京大学スポーツミュージアムの事例」 亀井哲也（中京大学現代社会学部） 「筑波大学における金栗四三・嘉納治五郎特別展について」 大林太朗（筑波大学体育系） 「博物館資料の保存：何を何のためにどう残すか」 川野邊　渉（東京文化財研究所） 「スポーツ資料・ミュージアムの拡がり（障がい者との共生とパラスポーツ）」 服部直充（社会福祉法人太陽の家） 「東京2020大会資産の収集・保存とその活用について」 下湯直樹（日本オリンピックミュージアム） 参加者：180名（申し込み人数）